

## J Aバンク宮崎における地域密着型金融の取組状況（2018年度）

J Aバンク宮崎（宮崎県下 J Aと宮崎県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、J Aバンク宮崎中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

2018年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

### 1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

J Aバンク宮崎は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

#### (1) 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク宮崎は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

2019年3月末時点のJ Aバンク宮崎の農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は87,960百万円（うち農業経営向け貸付金64,299百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は14,594百万円を取扱っています。

(注)

- 1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。
- 2 J Aバンク宮崎が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

#### 【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

	2019年3月末現在
農業	64,299
穀作	679
野菜・園芸	3,104
果樹・樹園農業	914
工芸作物	370
養豚・肉牛・酪農	23,133
養鶏・鶏卵	1,019
養蚕	10
その他農業	35,067
農業関連団体等	23,661
合計	87,960

(注)

- 1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。
- 2 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	2019年3月末現在
プロパー農業資金	41,758
農業制度資金	46,202
農業近代化資金	22,784
その他制度資金	23,418
合 計	87,960

(注)

- 1 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク宮崎が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク宮崎が低利で融資するものを対象としています。
- 3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

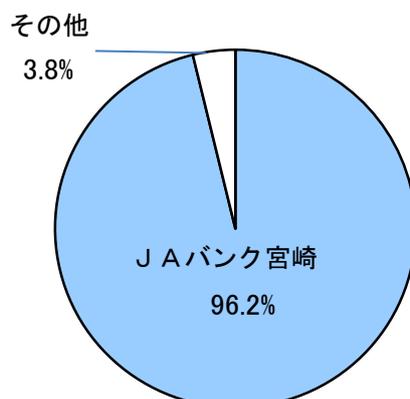
種 類	2019年3月末現在
日本政策金融公庫資金	14,594
そ の 他	—
合 計	14,594

(注) JAバンク宮崎では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク宮崎は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【宮崎県の農業近代化資金の取扱いシェア】

農業近代化資金 融資残高シェア  
(2018年12月末時点)  
出所：宮崎県



## (2) 担い手のニーズに応えるための取組

J Aバンク宮崎では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、2018年度末時点で13J A・21名配置しています。

J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は2018年度末時点で県内に127名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

信連では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めています。

宮崎県のJ Aグループでは、信連・中央会・経済連・共済連・農林中央金庫が一体となって「営農サポートセンター」を構築しており、担い手に対し事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでいます。

## (3) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

J Aバンクでは、J Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンクCS調査）を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

## 2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

J Aバンク宮崎は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

### (1) 次世代農業者の育成支援

J Aバンク宮崎では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

#### 【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位：件、百万円)

	2018年度 実行件数	2018年度 実行金額	2019年3月末 残高
青年等就農資金	72	533	1,613
就農支援資金	—	—	358
JA新規就農応援資金	—	—	—
合計	72	533	1,971

## (2) 農商工連携の推進

J Aバンク宮崎では、農業の生産額、所得の拡大に向けて、ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでいます。

### 【2018年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	内容
平成30年度J A・J Fグループ九州・沖縄食の発信商談会	2019年2月20日	九州各県のJ Aバンク・農林中央金庫	セラー 44社 バイヤー 23社	商談件数 208件 (個別商談 185件) 成約数 12件
第5回沖縄大交易会	2018年11月29日 ～30日	沖縄大交易会実行委員会	セラー 269社 バイヤー 282社	商談件数 3,102件 (個別 2,709件、 フリー 393件)

## (3) 農業法人とのネットワーク拡大

J Aバンク宮崎では、宮崎県農業法人経営者協会の賛助会員となり、当協会の総会および付随して行われる研修会やセミナーに参加し、農業法人とのネットワーク拡大、関係強化に取り組んでいます。

## (4) 被災者等への支援

J Aバンク宮崎では、災害等の被災者を支援するため、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等に対応しました。

(単位:件、百万円)

取組事例	JA名	内容	件数	貸付実行金額
硫黄山噴火被害緊急支援資金	J Aえびの市	硫黄山噴火による長江川白濁に伴い、農産物の被害等の影響を受けた農家を緊急的に資金対応しました。	3	9
台風24号の為のアグリマイティ資金利息緩和の対応	J A児湯	J A児湯では、台風で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、当J Aで利息補助対応しました。	48	143
台風24号緊急支援資金の対応	J A西都	J A西都では、台風で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利の資金で対応しました。	12	24
台風等の災害や急激な経済変動への対応	県内J A	県内のJ Aでは、台風等の不慮の災害により、農業経営に影響を受けている農業者に対し、経営の再建および維持安定を図る資金を対応しました。	6	12
天候不順・価格低迷等で減収が見込まれる先への対応	県内J A	県内のJ Aでは、天候不順・価格低迷・資材高騰等で減収が見込まれる農家及び、経営支援を行う農家が必要とする資金を対応しました。	34	47

## (5) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク宮崎では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【2018年度 農業者の経営改善支援等の取組実績】

(単位：先)

	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a/A	ランクアップ率 = b/A	
正常先①	46	5		39	10.9%		
要注意先	うち その他要注意先②	85	42	8	68	49.4%	9.4%
	うち 要管理先③	10	0	0	22	0.0%	0.0%
破綻懸念先④	131	44	12	102	33.6%	9.2%	
実質破綻先⑤	17	3	1	15	17.6%	5.9%	
破綻先⑥	0	0	0	0	0.0%	0.0%	
小計 (②～⑥の計)	243	89	21	207	36.6%	8.6%	
合計	289	94	21	246	32.5%	7.3%	

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は2019年3月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

J Aバンク宮崎では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 6次産業化の支援

J Aバンク宮崎では、農家の所得向上を支援するために、継続的に宮崎県農業振興公社主催による「みやざき6次産業化チャレンジ塾」に参加し、6次産業化に取り組む農林漁業者等の支援をサポート、推進できる人材育成に取り組んでいます。

(2) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク宮崎では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【2018年度 負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	2018年度 実行件数	2018年度 実行金額	2019年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	5	51	766
畜産特別資金	4	156	3,992
その他	94	424	2,456
合計	103	631	7,214

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

### (3) 動産担保融資の活用

J Aバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。

宮崎県における融資の実績は次表のとおりです。

【動産担保融資活用実績】 (単位 件、百万円)

	2018 年度末	
	件数	残高
農産物	—	—
畜産物	1	170
機械設備	—	—
その他	—	—
合計	1	170

## 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク宮崎では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

### (1) 食・農への理解促進

J Aバンク宮崎は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、2018 年度には県下の小学校 242 校へ 11,924 冊配布され、学校の授業等において活用されています。

以上